

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



9

September, 2020
vol. 428

活動・暮らし「新しい生活様式」進行中



Contents

建築探訪（森山神社境内と一色会館）	01
会員仕事紹介（「恵和青年寮」及び「恵和館」再整備）	03
支部だより（愛川支部—会員紹介・茅ヶ崎寒川支部—支部活動）	05
旅行記（ベルリン・フィルハーモニー雑感）	07
神事協のあゆみ	09
編集者のつぶやき（家族の風景）	10

森山神社境内と一色会館

有限会社 三橋建築測量事務所 三橋 香織

葉山の私の事務所から徒歩圏内には、神奈川県立近代美術館や、山口蓬春記念館(吉田五十八、大江匡設計)、つい最近国の登録有形文化財となった、加地邸(遠藤新設計)などの有名建築物があります。

森山神社も、歩いて2,3分のところにあります。国道134号線から少し入ったところですよ。

神社の創建は749年と、とても古く、その年の風位風向を占う世計り神事は1200年以上も続いているとのこと。神事は葉山町の民俗無形文化財に指定されています。

ちなみに令和二年の世計りは「豊作、天候は北風に注意」と出ております。



森山神社

古い写真が残っています。

1952年当時米軍の軍医として横須賀海軍基地に勤務していたDr. チャールズ・ユンカーマンさんが撮った、60年以上前の森山神社です。

当時は茅葺屋根だったのですね。



60年以上前の森山神社の様子
(ユンカーマンさん撮影)



一色会館

社殿が見下ろす位置に建っているのが、一色会館です。

会館は昭和39年の三十三年祭を控えて、昭和31年に建てられました。

詳細は不明ですが、木造平屋一部2階建て、増改築ありとのこと。

最初にこの建物を見たときはかなり衝撃をうけました。

現実感がない、というか、まるで漫画の中から出てきたような、軽さです。

一色会館のファサードにある、木製の建具はすべて外すことができ、お祭りがあるときなど、大きな舞台に変身します。

かなり広い空間です。天井が張ってあるので梁の様子はわかりません。

奉納演芸が行われるときなどは、外と一体となり、独特な雰囲気 of 野外劇場となります。

舞台に立って、正面には社殿に向かって上がっているひな壇があります。お客さんはおもいおもいにそこに座って、催しを楽しみます。



例大祭奉納演芸の様子（森山神社氏子会提供）

社殿の位置から見渡すと、遠くに水平線も見えます。

絶妙なバランスのこのレトロな空間は、大変貴重です。

手を入れ、大切に守られていることが、あちこちから感じ取れます。

建て替えになったら、二度と同じものは作れないでしょう。

例大祭は毎年8月最終の土日に行われますが、今年はコロナウイルス感染症の影響で、2日間の奉納演芸は中止となりました。

境内で毎週土曜日に行われている朝市は、夕涼み市として規模を縮小しつつも今後開催の予定だそうです。（8月現在）

早く終息して、賑やかさが戻ってくることを願わずにられません。



社殿とひな段



奉納演芸ひょっとこ踊りの様子
（森山神社氏子会提供）

障害者施設「恵和青年寮」及び「恵和館」再整備

第61回神奈川建築コンクール 一般建築部門 優秀賞受賞

株式会社 金子設計 稲毛 恒男



コンセプト

恵まれた自然を活かした
「居心地の良い住まい」を
みんなでつくる



プロポーザル

創立60年を迎えた社会福祉法人 恵和は、老朽化した建物の建替えのためにプロポーザルを行いました。本提案は、創立100周年に向けて"恵まれた自然環境を活かした「居心地の良い住まい」をみんなでつくる"をコンセプトに、中心の広場をとり囲むような建物配置とすることで、安心安全でより豊かな環境となるように提案しました。



- ①:空の家(改修)
- ②:月の家(改修)
- ③:東の家(建替)
- ④:恵和館(減築)
- ⑤:恵和苑(撤去)
- ⑥:星の家(撤去)

凡例

- 撤去建物
- 改修建物
- 既存建物



- ①:空の家
- ②:月の家
- ③:新・東の家
- ④:デッキ広場
- ⑤:新・恵和館

凡例

- 新築建物
- 改修建物
- 既存建物

平成29年3月完成

『施設の顔』をつくる

新・恵和館は施設全体のエントランスとして、地域とつながる「施設の新たな顔」となるように周囲の緑の森に映える朱色の壁を計画しました。



敷地の中心に位置する既存恵和館は、2・3階を減築し、屋上にデッキを設け、施設の中心となる広場を計画しました。

基本設計

実施設計

運用

『居心地の良い住まい』を設計する

建物をつなぐ外構は、既存建物や地形を活かした多様な広場を連続的につなげる事で、利便性・快適性・安全性・社会性を持つ居場所のネットワークを創出し、利用者にとって『居心地の良い住まい』となるように努めました。

利用者の居場所となる多様な広場は、高低差と連続性を持ち、見守れる環境のある「安心・安全な暮らし」を実現します。



建物前の小さな広場



旧恵和館を減築した大きな広場



多様な広場が連続する風景

『みんなでつくる』

職員、利用者からの密な聞き取りから、「施設の将来像」「活動の場・居場所づくりへの具体的な要望」「福祉の専門的な意見」を汲み取り、反映させながら一緒に計画を進め、ライフサイクルコスト・費用対効果・維持管理をふまえた計画と、利用者にとっての利便性や安全性に配慮した『居心地の良い住まい』の計画に努めました。



平常時の広場



イベント時の広場（竣工式の様子）

愛川支部会員紹介

愛川支部長（株）中山工務店一級建築士事務所 中山 裕次

愛川支部は会員数6名の少数精鋭部隊です。

矢後です。

60歳を過ぎ、これと言った趣味が無かったため、これでは老後の楽しみが(^^;)ということで、コロナ禍の中フルート教室に通い始めました。お教室では、先生と濃厚接触にならないよう、ソーシャルディスタンスを取るようになっています。

来住野です。

趣味はゴルフです。なかなか90の壁を越えられませんが、終わった後のビールでリフレッシュしています。近所にゴルフ場があるにも関わらず久しくゴルフをしていませんが、テレビ観戦や自宅でイメージトレーニングをやっています。

荻田です。

趣味はバイクです。長男や支部の仲間とツーリングに出掛けます。一人ツーリングでは地方の格安ビジネスホテルを確保して、その近隣の庶民的な地元の居酒屋で一杯！これがとても楽しみです。いつかは家族みんなで（孫たちも一緒に！）ツーリングに行けたらと思いつつ、時間の許す限りバイクで鍛錬?!の日々・・・もちろん、安全運転で！

和田です。

趣味はバイクです。仕事にモヤモヤして、時間があるときには、山中湖や奥多摩方面に、ぷらっとツーリングでリフレッシュします。いつかは全国大会にバイクでツーリングがてら参加したいなと思っています。体調を崩してからお酒の方はやめていますが、復活したら大好きなハイボールを嗜みたいと思う今日この頃です。

田中です。

昨年、建設業国民健康保険に加入したいことから神事協に入会しました。入会早々、愛川町の定期調査の仕事をいただき愛川支部全員で協力して取り組んでいる姿に感銘を受けました。入会のきっかけで愛川町のイベントや事業に参加出来たのも皆さんのおかげだと思っています。

中山です。

趣味は野球観戦。大のジャイアンツファンです。過去には月に15試合球場に足を運んでいたこともありましたが、究極の雨男らしく甲子園球場へは大雨で新幹線を止め、5月の仙台での試合は季節外れの雪を降らせました。そう言えば去年の地引網も江の島駅に着いたとたん大雨となってしまうでしたね・・・

5



ね
幸福の音はこう吹くのね



Get your motor running



愛川支部みんなで定期調査

支部活動について

茅ヶ崎寒川支部長 (株)湘南トール工房 数田 亨

茅ヶ崎寒川支部は活気ある湘南ブロックで他支部に刺激を受けながら、控えめながらも堅実に16社のメンバーで活動しています。

近年は地域内行政との関係が特に密接となり、茅ヶ崎市とは空家対策推進協議会の中核メンバーとして参加しています。一時期、市民からの問い合わせが殺到した危険ブロック塀の相談窓口としての対応や、間接的に関わる建築なんでも相談の相談員は支部のメンバーが全て対応しています。

また寒川町とは住宅耐震相談について協定を結び、定例で相談会を行っています。その流れで、寒川町産業まつりでは寒川町の担当課と共に専用ブースにて建築相談会を行っています。

更に寒川町は現在、空き家対策の協議会発足の準備を進めていますが、その運営内容について、内々の問い合わせを頂く関係となっています。このように茅ヶ崎寒川支部は一般社団法人としての責任の元、関係する行政とは良い方向に展開しています。

この新型コロナ禍の中、支部活動も制限を受けますが、今後は支部会員の為の活動を展開しなければなりません。そのためには、湘南ブロック内の各支部に協力して頂く事も有意義と考え、昨年は藤沢支部に協力して頂き、藤沢支部のしごと展への参加を支部会員に呼びかけました。更にそのしごと展への参加募集を、支部内未加入建築士事務所全社にファクシミリで支部の紹介文と共に送信しました。しごと展への問い合わせは何件か有りその建築士事務所へは継続して入会の案内をしてまいります。

当支部は会員が減少傾向に有ります。昨年ブロック支部委員会が開催した新規開設建築士事務所講習会に於いて意見交換をした建築士事務所の方がおり、入会一步手前まで行きましたが、入会に至りませんでした。何よりも支部活性化のためには、会員増強が有効と捉え、更にそのために有意義で楽しい支部活動をしなければならないと痛感しました。

6



有志による支部研修旅行 一海野宿にて一

旅行記（ベルリン・フィルハーモニー雑感）

カマタ建築設計事務所 鎌田 直和

私の旅行は、もっぱら「音楽鑑賞」の旅。

観光地巡りも人並みにはするにはするが、現地でしか聴けない・観られない演目を楽しむのが目的。従って、旅程も聴きたい演目と都市をピックアップし、それを列車と飛行機で「点と線」で結ぶことから始まる。

欧州では中規模程度以上の街であれば、必ず劇場が存在する。存在するのは建物だけではない。オーケストラ・歌手・バレエ・合唱団・制作チームの組織も自前で存在している。そして、その街ごとに演目や演出の傾向も異なる。劇場とはハコだけではない。正にその街の「顔」なのである。

その中でも、毎回訪れる街がある。ドイツ連邦共和国首都ベルリンである。

欧州で、常設のオーケストラ・オペラハウスの両方が高い水準で充実している街のひとつ、ベルリン。分断の時代は、東西にそれぞれ劇場と楽団があったのだが、統一後も各々の個性で存続している。

その中でもハンス・シャロウン設計のフィルハーモニーは、ワインヤード形式のコンサートホールの先駆けとなったエポックメイキングな建物である。

上の才能のみならず、政治力やプロモーションにも長けた人物で、このフィルハーモニーもカラヤンの意向が相当盛り込まれたと聞く。



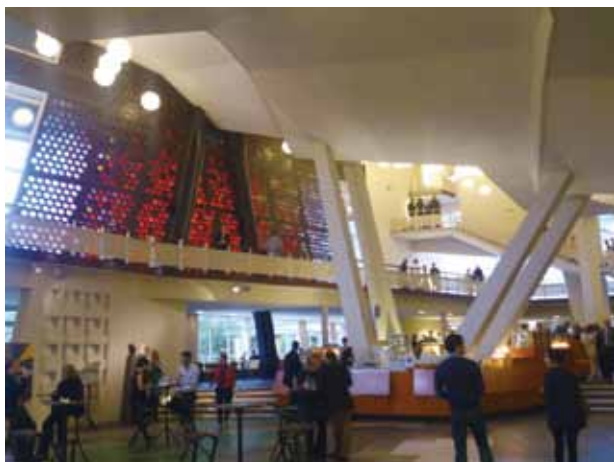
従来のシューボックス型のホールの概念を破り、舞台を客席が取り囲む「ワインヤード」は、古代ローマの円形劇場のように「見せる」ことを念頭においたものであろう。

当然、音響上のバランスはシューボックスホールから比べると無理が生じる（舞台横のブロックでは、近くの楽器群の音圧が大きい）ことになるが、不思議と違和感を感じないのは、設計側の努力もしくは視覚的要素か。

ちなみに赤坂のサントリーホールも、カラヤンの意向が組み入れられた、日本最初のワインヤードホールである。



フィルハーモニーはベルリン・フィルの本拠地である。クラシック音楽界をけん引するこのスーパーオーケストラを、戦後発展させたのは指揮者・帝王ヘルベルト・フォン・カラヤン。彼は音楽



ホワイエは下階に広く設置され、階段で上階のホールに向かう。社交の場としてのホワイエ機能も十分に果たしている。

そして演奏中に、観客の視線を遮ることなく、指揮者を撮影出来るポイントが、数か所設置されている。フィルハーモニーで撮影されたカラヤンの横顔は、多くのレコード・CDジャケットを飾っている。

芸術を「売った」と揶揄されるカラヤンではあるが、その流麗で正確無比な音楽と映像は、現在でもその価値を失わない。

とにかくここでのベルリン・フィルは良く鳴る。ウィーン・フィルはとてつもなく「美しい」が、ベルリン・フィルはとてつもなく「巧い」。

テントさながらのホール屋根と、曲芸の域とも言える演奏技術の高さから、フィルハーモニーは今でも「カラヤン・サーカス」の異名を保ち続けている。

そしてこのフィルハーモニーのすぐそばに、ご存じミース・ファン・デル・ローエのベルリン国立美術館・新ギャラリーが佇んでいる。



ミースはその名前から、オランダ系のドイツ人と推察するが、ナチスを嫌ってアメリカに渡る。

シャロウンは、やはり名前からユダヤ系と思われるが、戦後もドイツにとどまる。

そのふたりがほぼ同時期に、戦争で徹底的に破壊されたベルリンの復興に携わったことは、何か不思議な因縁を感じる。ベルリンの壁近くに建設されたのも、東西統一後にベルリンの中心に位置することを意味している。そこには二度と悲劇を繰り返すまいという、欧州の英知があるのかも知れない。

西側ショーウィンドウの象徴でもあったベルリン・フィルであるが、カラヤン亡きあとは、イタリア人のアバード、イギリス人のラトルを経て、現在はロシア人のペトレンコが指揮を務める。ドイツ人はひとりも選ばれていない。カラヤンも実はオーストリア人。そして、かつて全欧州を戦争の渦に巻き込んだ男も、同郷であった。

神事協のあゆみ

先達のあゆみを振り返って

ついこの間、事務所協会の設立40周年（2016年）記念式典が済んだと思っていたらもう2020年。本当ならばオリンピックの余韻に浸って居るはずでしたが、次の50周年にあと5年半です。という訳で、コロナ禍と残暑の中ちょっと「神事協のあゆみ」に思いを馳せてみましょう。

神事協の前身のそのまた前身は、昭和24年（1949年）に神奈川県建築代理士会が設立されました。いわゆる代願事務所の集まりといったところです。昭和27年（1952年）8月頃には、横浜、川崎、横須賀、小田原、高座愛甲に各々独立団体として運営されていたようです。それを統一する意味で昭和43年7月（1968年）に前身となる神奈川県建築事務所団体連絡協議会が設立され、ついに昭和47年（1972年）神奈川県建築士事務所協会連合会に改組し法人団体の母体となったのです。

そしてようやく昭和51年（1976年）11月に社団法人神奈川県建築士事務所協会として神奈川県知事より設立許可を受けました。当時は、横浜、川崎、横須賀、平塚、小田原、神奈川の6支部、会員数712名からのスタートでした。昭和53年には現在の日事連の前身 社団法人全国建築士事務所協会連合会に加入しました。

その後一般社団法人に移行したのが平成25年（2013年）。その間支部は、分離、統合等があり現在17支部となっているのはご承知の通りです。

昭和24年の黎明期より70年。神事協としても設立45年。国内では戦争こそありませんでしたが、地震、台風、異常気象による大規模な災害と、現在進行中の未曾有のコロナ禍を経験し想定外の世界に入り込んでいる今日この頃です。連綿と続く我が協会のあゆみを止めてはならないと思います。

現在の支部 (17支部)

- | | |
|----------------------|--|
| ① 川崎支部 川崎市 | ⑪ 厚木支部 厚木市・清川村 |
| ② 横浜支部 横浜市 | ⑫ 海老名支部 海老名市 |
| ③ 横須賀支部 横須賀市 | ⑬ 茅ヶ崎寒川支部 茅ヶ崎市・寒川町 |
| ④ 湘南三浦支部 逗子市・三浦市・葉山町 | ⑭ 伊勢原支部 伊勢原市 |
| ⑤ 鎌倉支部 鎌倉市 | ⑮ 平塚支部 平塚市・大磯町・二宮町 |
| ⑥ 藤沢支部 藤沢市 | ⑯ 秦野支部 秦野市 |
| ⑦ 大和綾瀬支部 大和市・綾瀬市 | ⑰ 県西支部
小田原市・南足柄市・中井町・
大井町・松田町・山北町・
開成町・箱根町・真鶴町・
湯河原町 |
| ⑧ 座間支部 座間市 | |
| ⑨ 相模原支部 相模原市 | |
| ⑩ 愛川支部 愛川町 | |



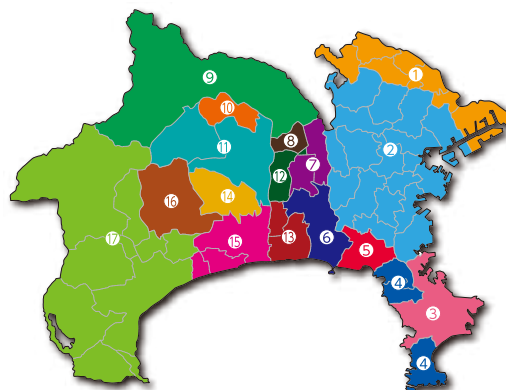
1976年1月19日 社団法人設立式典・賀詞交歓会 県民ホール



1980年10月15日・16日 第6回全国大会（神奈川大会）



1985年1月22日 10周年式典・賀詞交歓会



会員動向	
7月入会者	
横浜支部	
UNDER EAVES 〒233-0016横浜市港南区下永谷3-32-9 TEL.080-3085-7653	初山 程男
横須賀支部	
株式会社 佐山建築研究所 一級建築士事務所 〒240-0112三浦郡葉山町堀内1315-1 TEL.046-877-1091 FAX.046-877-1092	佐山 希人
退会者	
横浜支部	
株式会社山田資産コンサル一級建築士事務所 静和建物株式会社二級建築士事務所 株式会社さくら設計工房	前原 健三郎 玉木 光一 長濱 行弘
川崎支部	
株式会社富士ハイエンジニアーズ一級建築士事務所 株式会社GDS一級建築士事務所	遠藤 修 儀同 房男
鎌倉支部	
建築再生工房株式会社タケウチ一級建築士事務所	竹内 章悟
変更	
横浜支部	
建築再構企画 一級建築士事務所 (事務所所在地、TEL、FAX変更) 〒222-0011横浜市港北区菊名6-1-6-1 菅野ビル2F TEL.045-716-8272 FAX.045-716-8273	
一級建築士事務所 スタジオM2 (事務所所在地変更) 〒227-0062横浜市青葉区青葉台2-36-2 シャトーアオバ101号	
株式会社曾根靖裕デザイン事務所 (事務所所在地変更) 〒231-0011横浜市中区太田町5-61-1 BRICKS馬車道館10F	
株式会社 a n e l a 企画 一級建築士事務所 (事務所所在地、TEL、FAX変更) 〒232-0031横浜南区永楽町2-23-2-103 TEL.045-325-8935	
川崎支部	
東京海上日動ファシリティーズ株式会社一級建築士事務所 (指定代表者変更) 黒住 英生	
養清堂アーキテクト建築設計事務所 (事務所所在地変更) 〒214-0013川崎市多摩区登戸新町235-3-101	
有限会社上原建築設計事務所 (支部変更) 旧) 横浜支部	
横須賀支部	
一級建築士事務所有限会社 I K K (事務所名称変更) 旧) 一級建築士事務所インテリア工房小林	

会 勢		令和2年8月15日現在			
支部名	令和2年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 濱	255	253	5	7	1
川 崎	104	103	1	2	-2
横 須 賀	51	52	1	0	1
湘 南 三 浦	16	16	0	0	0
藤 沢	34	34	0	0	0
鎌 倉	40	39	1	2	-1
茅ヶ崎寒川	16	16	0	0	0
平 塚	23	23	0	0	0
秦 野	14	14	0	0	0
伊 勢 原	6	6	0	0	0
大和綾瀬	19	19	0	0	0
厚 木	28	28	0	0	0
座 間	13	13	0	0	0
海 老 名	16	16	0	0	0
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	65	65	0	0	0
県 西	40	41	1	0	1
合 計	746	744	8	10	-2
賛 助 会 員	104	104	0	0	0

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

会報「KANAGAWA7月号」に関するお詫びと訂正

表紙Contents「支部だより」

(誤) 横須賀支部→(正) 相模原支部

謹んでお詫びを申し上げますとともに、訂正させていただきます。

編集者のつぶやき

普段は、夫と愛犬1匹の暮らし。娘たちがそれぞれ家庭を持ち、孫の誕生と家族が毎年増え、今、総勢10人と2匹のトイプードルとなりました。

昨年12月ついに冷凍庫を購入、これで家族の行事に対応できると、暮れから新年、この冷凍庫が活躍しました。新型コロナウイルス感染から、緊急事態宣言、自粛生活、在宅勤務、リモート会議など、暮らしは、一変。新しい生活様式、マスク生活が日常化に。また、家で食事を作ることも日常化し、食料品のまとめ買い、休日は、ストック料理に没頭。家族の健康、免疫力アップから、栄養のバランスに心がける様になりました。母となった娘たちへ、作った料理の写真を家族lineに送り、リクエストに応えるだけでなく、伝える事にしました。

(株)A&A設計室 雨森 隆子



KANAGAWA 令和2年9月号 (通号428号)

発行 令和2年9月1日 (奇数月1日発行)

発行人 白井 勇

発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F

TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807

印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 大和田 優
 広報情報委員長 杉本 勝郎
 広報情報副委員長 加藤 一郎
 広報情報委員 雨森 隆子 有泉 絵美 赤川 真理
 小山 将史 中原 尚代
 小井口 英寿 仙波 弦
 事務局 久保田 千尋



今月の表紙

帆船日本丸

帆船日本丸は、1930年1月に進水、半世紀に亘り活躍し、1984年に引退。

その後は、日本丸メモリアルパークに展示されています。その美しい姿から「太平洋の白鳥」、「海の貴婦人」と呼ばれていました。

船内公開や青少年に向けた企画等があり、娘は、小学生の時「よこはまこどもマリンスクール」に1年参加しました。甲板掃除や帆を張る体験、宿泊訓練、南伊豆臨海学園での合宿等が思い出されます。

横浜港に面したみなとみらい地区、赤レンガ倉庫、山下公園と人気の観光地。毎年の花火大会も楽しみの1つでしたが、新型コロナウイルス感染で中止となりました。

今年は、日本だけではなく世界中で、暮らし方が変わる過渡期、節目の年となる事でしょう。

柔軟に変化を受け入れ、未来に期待したいですね。帆船日本丸は、進水して90年、いつも私達を見守ってくれているように思えてなりません。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association